

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

- アルブミン/BCP改良法(ALB/BCP改良) (依頼コードNo.417)
- アルブミン・グロブリン比(A/G比・) (依頼コードNo.468)

受託開始日 2015年4月1日(水)受付分より

血清アルブミン値は全身栄養状態や肝機能障害の指標として広く用いられています。今までアルブミンの測定法は、プロモクレゾールグリーン法(BCG法)が主流となっていましたが、グロブリンや急性相反応物質の影響を受けるなど、いくつかの問題点がありました。それらの問題を改善した方法としてプロモクレゾールパープル改良法(BCP改良法)が開発され、多くの施設で採用されてきています。

この度多くのご要望にお応えし、現行の測定法であるBCG法に加え、BCP改良法による検査の新規受託を開始させていただきます。

裏面に続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3
総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1
☎ 049(232)3131 FAX 049(232)3132

検査項目検索用
アプリ B-Book



Google play



Available on the
App Store



電子カルテはビー・エム・エル

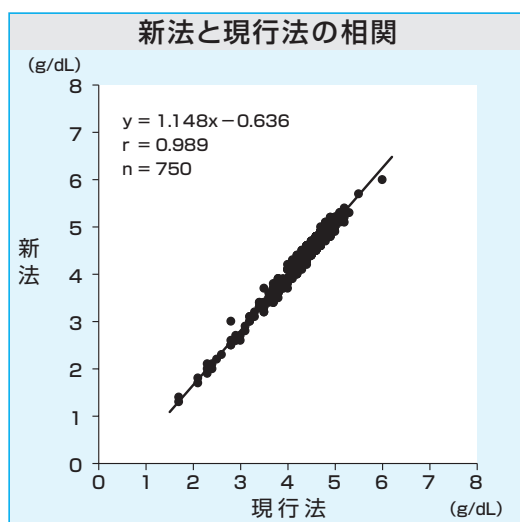


受託要領

検査項目名	ALB/BCP改良	A/G比・
依頼コードNo.	417	468
統一コード	3A015-0000-023-271	3A016-0000-023-919
検体必要量	血清 0.5mL	血清 0.5mL
容器	B-1→S-1	B-1→S-1
検体の保存方法	冷蔵	冷蔵
所要日数	1～2	1～2
検査方法	比色法(BCP改良法)	比色法(Biuret・BCP改良法)
基準値	3.8～5.2	1.2～2.2
単位	g/dL	なし
報告桁数	小数第1位	小数第1位
検査実施料/判断料	11点/144点(生化学的検査(I))	未収載

【検査方法の参考文献】 佐々木真弓, 他: 医療と検査機器・試薬 26, 335-338, 2003

BCP改良法(新)とBCG法(現行)の相関



自社検討資料

ご参考

各種の診断基準やガイドラインには BCG 法の測定値が用いられておりますが、BCP 改良法への対応については日本臨床検査医学会から下記のような換算が提言¹⁾されております。

	BCG法	2.5	2.8	3.0	3.5
	BCP改良法	2.2	2.5	2.7	3.2
肝硬変	Child-Pugh分類	[Bar chart showing classification ranges]			
ネフローゼ症候群		[Bar chart showing classification ranges]			
栄養状態の識別	CONUT値	[Bar chart showing classification ranges]			
	GPS	[Bar chart showing classification ranges]			
	三木分類	[Bar chart showing classification ranges]			
アルブミン製剤の効果の評価	急性の場合	[Bar chart showing classification ranges]			
	慢性の場合	[Bar chart showing classification ranges]			

診断基準などにおけるアルブミン (g/dL) の判断値²⁾

各病態に対して換算式を一つに決めることは極めて困難であるが、図に示された疾患の病態識別値としては BCP 改良法の測定値が 3.5g/dL 以下の場合、測定値に 0.3g/dL を加えた値を BCG 法での推測値と近似するのが妥当とする。

1) BCG 法と BCP 改良法による測定値の差の取り扱い方: 日本臨床検査医学会 血清アルブミン定量値ワーキンググループ: 臨床病理 62, 5-9, 2014.

2) 前川真人: 医学のあゆみ 251, 182-183, 2014.